

# 新宿区議会

## 羊平レポート

自民党区議団ニュース  
平成23年8月 Vol.1  
新宿区議会議員 桑原 羊平

4月に新宿区議会議員初当選から早や3ヶ月が過ぎました。ご支援を賜った皆様の為、延いては新宿の為にも、より住みよいまち新宿を目指して頑張っています。今回初の議会を終えまして、皆様にご報告のレポートをまとめました。

今回の議会で質問した内容は以下の3点です。



### 1、震災時などの帰宅困難者対策について

### 2、停電時に有効な通信手段について



### 3、学校の登下校管理システムについて

- 1、東日本大震災において、西新宿地域で深刻な問題となった、一斉帰宅の対応について質問しました。一斉帰宅の対応として、時差帰宅は今回の震災の翌日の往来を見てもわかるように、かなり有効とされました。今後、万一今回のような震災で複数の路線が止まってしまった場合、日の出ている時間ならば女性を早めに帰宅させるなど、提言もしました。

これについて新宿区は新宿駅周辺の周辺施設に関わる会社、ビル、鉄道、警察、消防などが集まって、「新宿駅周辺防災対策協議会」という団体を作っており、そこで、帰宅困難者対策を「新宿ルール」と名付け駅周辺の混乱防止対策に努めております。

私も今後、震災時の時差帰宅も含め、この新宿ルールの更なる普及を目指していきます。

- 2、停電をした場合の有効な通信手段について、防災行政無線が現在一番有効とされ、本年度中にデジタル化が終了予定です。各町会にデジタルラジオも置いて、震災時でも情報が普及するよう努めています。

- 3、登下校管理システムとは、児童が、登下校時にICカードをカードリーダーにかざすことにより、保護者があらかじめ登録したメールアドレスにリアルタイムに登下校を知らせるメールを送信するシステムです。各校のPTAにより導入され、現在四谷小学校を始め、12

校に設置されています。

新宿区としては、現在メールの一斉配信システムを導入し、緊急の場合保護者にメールができるようになっております。今回の震災で携帯のメールには到達するのに時間がかかった為、4月にパソコンのメールも登録できるようにしました。また、震災の状況によっては、一斉メール配信システムも十分に機能しない事も想定されますので、学校のホームページや災害用伝言ダイヤルなどの活用も合わせて、保護者への連絡手段を確保していきます。



## 放射能、節電対策について

放射線測定器(シンチレーションサーベイメータ)を都から1台借り、更に同一機種を5台購入し、区内約190ヶ所を測定します。

測定施設は保育園、こども園、幼稚園、小中学校の全園・全校(一部私立を含む)と児童館、公園や屋外スポーツ施設などです。

測定点は、1施設4ヶ所程度で、園庭、校庭、砂場などのそれぞれの地表5cmと1mの地点を測定します。

衛生課、生活環境課、施設所管課で測定班を編成し、8月末までには完了予定です。

その他、砂場の砂、プール水についても業者に委託して調査をします。また、実施時期と測定結果は新宿区のホームページにも載っていますが、わからない事がありましたら、おたずね下さい。



## 熱中症について

この時期熱中症になりやすい時期です。以下の予防法を参考に十分に気をつけて下さい。

外出時は帽子や日傘を使用し、直射日光を避けましょう。又、なるべく涼しい格好をし、吸汗速乾性の下着や、濡らしたスカーフを巻くなどし、体温を下げるようにしましょう。

いつもより、汗や尿の量が少なくなったり、尿の色が濃くなったら要注意です。喉が渇く前に水分補給をしましょう。同時に塩分なども補給しましょう。

寝不足や二日酔いなど体調が悪い時には更に気をつけてください。

節電を過度に気にせず、体調が悪い時はエアコン、扇風機を上手に利用して下さい。